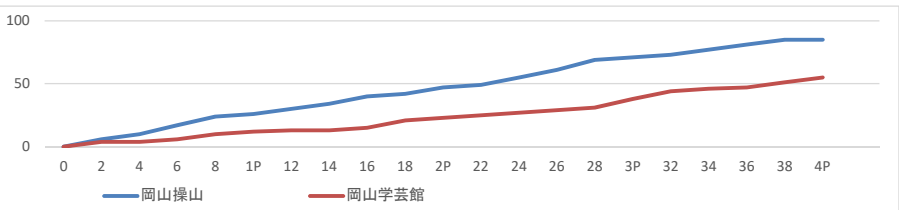


第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会																											
日時	2018年1月27日 9:30			男子			決勝リーグ																				
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校						Gコート 第1試合																				
○ 岡山操山 85 $\left\{ \begin{array}{l} 26 - 12 \\ 21 - 11 \\ 24 - 15 \\ 14 - 18 \end{array} \right\}$ 56 岡山学芸館 ●																											
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル							
長尾 帆高(C) *	4	23		10	3	4	能瀬 竜一郎(C) *	4	16		7	2	2	中場 遥香	4	2		1			角場 沙綾(C) *	4	9		4	1	1
鶴海 光貴	5	-					岩佐 拓弥	5	0					重永 朱里	5	0					福山 怜実 *	5	8		3	2	2
長尾 隆平 *	6	24		11	2	1	水畑 凱登	6	3	1			1	杉岡 蘭南 *	6	2		1			元林 沙月 *	6	3	1		4	
青木 新之介 *	7	10		4	2	1	伊藤 亜蓮	7	0					岩上 朋加(C) *	7	8		2	4	4	梅澤 実佑 *	7	10	2	2	1	
折戸 剛	8	-					石田 達也	8	2		1		2	下向 厘杏	8	7		2	3	3	高橋 実優 *	8	8	2	1	1	
高田 悠作	9	0					佐々木 光樹 *	9	13		5	3	1	定久 未奈 *	9	5	1	1		1	信岡 実咲	9	0				
秋山 遼河 *	10	4		2		3	田中 勇輝 *	10	3	1				渡邊 莉里那 *	10	2		1		1	江川 晏那	10	0				
三村 力斗 *	11	20	2	6	2	3	片山 裕貴	11	0											平尾 美月	11	-					
金谷 一史	12	-					小椋 紀稀	12	3		1	1	1							三島 瀬理海	12	2		1			
大森 悠生	13	0					門田 欣也 *	13	8	1	2	1	2							水嶋 嶺花	13	7	1	2	2		
梶原 佑太	14	4		1	2	3	村田 司	14	0					宮本 蘭石 *	14	10	2	2		1	原田 亜未	14	4		2	2	
佐伯 慎太郎	15	0					小山 雄大	15	0				1							大谷 玲未	15	2		1	1		
平井 励基	16	0				1	中村 亮太	16	2		1		1														
栗正 真宙	17	-					片山 太陽	17	0																		
田内 新大	18	-					田中 耐臣 *	18	6		3		5														
合計		85	2	34	11	16	合計		56	3	20	7	16	合計		36	3	10	7	10	合計		53	6	16	3	14

戦評

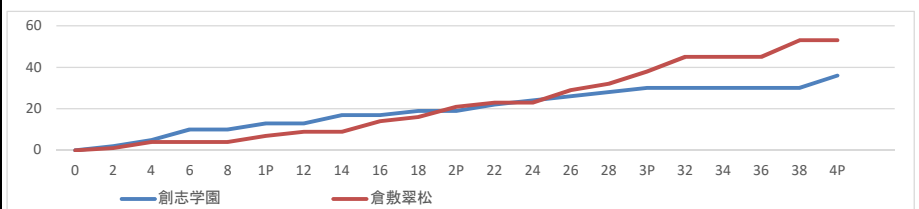
1P 両チーム、マンツーマンでスタート。操山はディフェンスを頑張り、ペースをつかむ。残り時間5分で操山13-4学芸館となったところで、学芸館がタイムアウトを取る。そこから落ち着きを取り戻すが操山の勢いは変わらず操山26-12学芸館で1P終了。
 2P 学芸館はディフェンスを厳しくし、ボールを奪うがシュートが思うように決まらない。その間も、操山は着々と点を積み重ねる。学芸館はオールコートのディフェンスに変えるなど、ペースを変えようと試みるが操山47-23学芸館と点差は広がり前半終了。
 3P 両チームディフェンスを頑張り、得点がなかなか決まらない。残り5分頃から操山の速攻が始め、再び点差を広げ始める。残り2分頃から学芸館が追い上げ始めるが操山71-38学芸館で3P終了。
 4P 学芸館のオールコートのディフェンスが徐々に効き始める。操山はすかさずタイムアウトを取り、学芸館にペースをつかませない。その後は一進一退の攻防が続く。その為、点差は変わらず、操山88-55学芸館で試合終了となる。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会																											
日時	2018年1月27日 9:30			女子			決勝リーグ																				
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校						Hコート 第1試合																				
● 創志学園 36 $\left\{ \begin{array}{l} 13 - 7 \\ 6 - 14 \\ 11 - 17 \\ 6 - 15 \end{array} \right\}$ 53 倉敷翠松 ○																											
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル							
中場 遥香	4	2		1			角場 沙綾(C) *	4	9		4	1	1	重永 朱里	5	0				福山 怜実 *	5	8		3	2	2	
杉岡 蘭南 *	6	2		1			元林 沙月 *	6	3	1			4	岩上 朋加(C) *	7	8		2	4	4	梅澤 実佑 *	7	10	2	2	1	
下向 厘杏	8	7		2	3	3	高橋 実優 *	8	8	2	1		1	定久 未奈 *	9	5	1	1		1	信岡 実咲	9	0				
渡邊 莉里那 *	10	2		1		1	江川 晏那	10	0											平尾 美月	11	-					
																				三島 瀬理海	12	2		1			
																				水嶋 嶺花	13	7	1	2	2		
																				原田 亜未	14	4		2	2		
																				大谷 玲未	15	2		1	1		
合計		36	3	10	7	10	合計		53	6	16	3	14	合計		36	3	10	7	10	合計		53	6	16	3	14

戦評

1P 創志は⑦のドライブなどで勢いのある攻撃を展開する。翠松は⑤がインサイドで攻めるが、創志の寄りが早く、得点になかなか繋がらない。創志は⑭⑨の3ポイントで勢いを増し、13-7と創志がペースを掴んだまま1Pを終える。
 2P 序盤は両者1本ずつシュートを決めるが、その後は得点が止まる。残り7分、創志のタイムアウト後、翠松はオールコートのディフェンスでプレッシャーをかけ、⑥のインターセプトや、⑧の3ポイントを皮切りに、速攻を重ねて勢いに乗る。終了間際、翠松は⑥の3ポイントで逆転に成功し、19-21で前半を終える。
 3P 翠松はオールコートディフェンスを続ける。対する創志も⑭の3ポイント、⑨の鋭いドライブで23-24と再びリードを取り戻すが、その後はディフェンスに疲れが見えはじめ、翠松に連続得点を許してしまう。終盤、翠松が⑦⑭⑬の3連続3ポイントを決め、30-38と一気に点差を広げた。
 4P 翠松はインサイドで④が連続得点すると、直後に⑧も3ポイントを決め、開始1分半で点差を一気に15点まで広げる。タイムアウトを取った創志は3ポイントで点差を縮めようとするが、決めることができない。その後は両者ともシュートが決まらない時間が続いたが、最終的には後半に勢いを増した翠松が36-53で勝利を収めた。

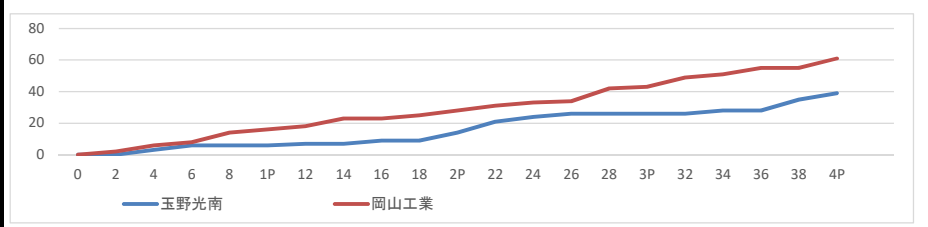


第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会					
日時	2018年1月27日	11:00	男子	決勝リーグ	
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校		Gコート	第2試合	
● 玉野光南 39 $\left\{ \begin{array}{l} 6 - 16 \\ 8 - 12 \\ 12 - 15 \\ 13 - 18 \end{array} \right\}$ 61 岡山工業 ○					

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
吉田 圭吾	4	8		4			池上 武志(C)	4	3		1	1	2
竹崎 天晴	5	6		3		4	難波 唯人 *	5	9		4	1	1
和泉 健大 *	6	4	1		1		大森 京貴 *	6	6		3		1
新見 京介 *	7	3	1			2	角谷 大成 *	7	2		1		
前田 憲一郎(C) *	8	5		2	1	2	岡村 童生 *	8	10		5		1
丸川 琉	9	0				1	有松 隼弥	9	0				1
泉 雄太 *	10	8	2	1			滝谷 陵雅	10	0				2
森山 翼	11	0				4	青木 大聖	11	4		2		
中瀬 隼介 *	12	5		1	3	2	山北 陽太	12	4		1	2	2
一色 悠希	13	-					西本 早稀	13	2		1		1
若林 徹	14	-					梶原 壮真	14	4		2		1
山本 楽久	15	-					大西 将洋	15	0				
赤松 俊亮	16	-					前花 拓海	16	2		1		
寒川 善生	17	-					中井 敦斗	17	0				
磯野 凌也	18	-					木岡 裕太 *	18	15	2	4	1	
合計		39	4	11	5	15	合計		61	2	25	5	12

戦評

1P 両者ともマンツーマンでスタート。岡工は⑩の速攻、ミドルや⑧のミドルなどで主導権を握りその後も⑩のパスカットからのワンマン速攻や⑥、⑤、⑧などがゴール下を決めるなどリードを広げる。対する光南は⑩の3ポイントが2本決まるものの他のシュートがきまらず16-6で岡工リードで1P終了。
 2P 岡工⑤のカットインからのバスカンや⑪、⑫もミドルやドライブを決め差を広げようとする。対する光南はオフェンスのリズムが合わず得点が伸びない。⑤の速攻以外は5ファウルからのフリースローで得点するにとまり28-14と岡工リードで終了。
 3P 光南は出だし⑥の3ポイントや⑫のドライブなどで追い上げ、その後も畳みかけるチャンスがあったが一本が出ず、岡工も⑩の3ポイントや⑤のドライブなどで反撃し追い上げを許さない。その後も岡工⑩や⑧が3ポイントやミドルなどで得点を重ね43-26岡工リードで終了。
 4P 岡工は④から⑤への絶妙なアシストパスや⑧への合わせのプレーなどで得点を重ねその後も④の3ポイントやダブルクラッチでリードを広げる。その後全員出場の岡工に対し光南もオールコートでプレスを仕掛け途中引っかけた場面があったものの61-39で岡工が勝利した。

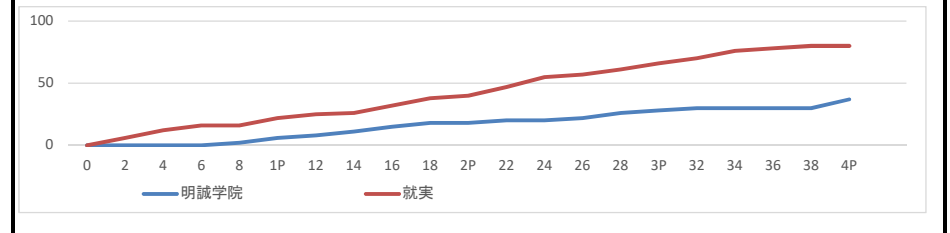


第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会					
日時	2018年1月27日	11:00	女子	決勝リーグ	
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校		Hコート	第2試合	
● 明誠学院 37 $\left\{ \begin{array}{l} 6 - 22 \\ 12 - 18 \\ 10 - 26 \\ 9 - 14 \end{array} \right\}$ 80 就実 ○					

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
垣内 琳香(C) *	4	2		1		4	小坂 幸羽(C) *	4	21		10	1	3
田中 陽菜	5	-					山中 茜音	5	0				
赤澤 萌々子 *	6	12		6		2	井上 玲菜 *	6	2		1		3
高原 巳和 *	7	8		4		2	平井 日奈子 *	7	11		5	1	2
村田 はな *	8	6	2			1	岩谷 樹	8	0				
岩佐 真希	9	2		1			中矢 愛乃 *	9	8	2		2	
吉田 梨子 *	10	7	1	2			岡村 季保	10	11		5	1	
梅崎 愛恵	11	0				1	松尾 梨央 *	11	27	2	9	3	
河本 徳容	12	-					北村 歩	12	0				
貝原 萌望	13	-					山中 あみ	13	0				
合計		37	3	14	0	10	合計		80	4	30	8	8

戦評

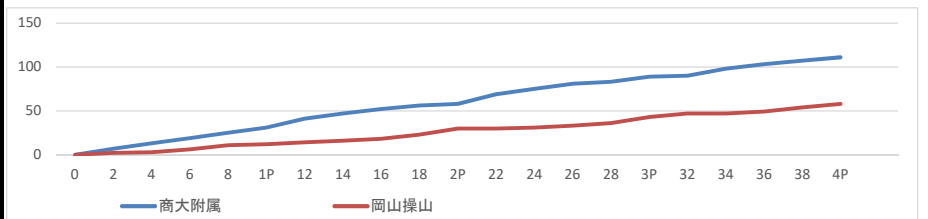
1P 両チームともマンツーマンでスタート。明誠はドライブを中心に攻め入るが、就実の堅いディフェンスに阻まれ、残り3分まで無得点。就実も序盤動きが硬かったが、⑪、④らの積極的なオフェンスで主導権を握り、明誠6-22就実で1P終了。
 2P 明誠は序盤、少ないチャンスを思い切りのよいシュートで⑦、⑧らが得点し、落ち着きを取り戻す。就実も中盤明誠の動きに押されながらも、粘り強いディフェンスから⑪、⑩らの活躍で得点し、リードをさらに広げ、明誠18-40就実で前半終了。
 3P 明誠⑥のドライブからの得点でスタート。両チームとも速いテンポでオフェンスを展開するが、就実は⑨、⑪の3ポイントでリードをさらに広げる。明誠も残り5分から⑥、⑦、⑨らが連続得点するが、就実も④が要所で確実にシュートを決め、追い上げを許さず、明誠28-66就実で3P終了。
 4P 両チームとも④の得点で始まる。その後は就実の一方的なペースとなり、リードはさらに広がる。就実メンバーチェンジの後、明誠も⑧の3ポイント、⑥、⑩の得点で食い下がりが及ばず、明誠37-80就実で就実が勝利した。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会													
日時	2018年1月27日 12:30			男子		決勝リーグ							
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校							Gコート			第3試合		
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">○ 商大附属 111</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="text-align: center;">58 岡山操山 ●</div> </div>													
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
守友 良 (C) *	4	15	2	3	3	2	長尾 帆高 (C) *	4	10		2	6	
藤原 進伍 *	5	11	2	2	1	1	鶴海 光貴	5	0				
井上 成也 *	6	18	1	7	1	4	長尾 隆平 *	6	4		2		
小林 亮太 *	7	11	3	1		2	青木 新之介 *	7	4	1		1	
河野 彪雅	8	8		4		1	折戸 剛	8	0				
吉田 圭汰	9	10		5		2	高田 悠作	9	2		1		
脇 真大 *	10	14	2	4		2	秋山 遼河 *	10	9		3	3	1
杉本 陽向	11	0					三村 力斗 *	11	4	1		1	1
山田 陵太	12	4		2		1	金谷 一史	12	0				
鳥羽 昂輝	13	6	1	1	1	2	大森 悠生	13	0				
吉田 亘汰	14	2		1		2	梶原 佑太	14	12	1	2	5	4
楨尾 青葉	15	8		4		3	佐伯 慎太郎	15	4		1	2	
櫻木 翔	16	0					平井 励基	16	5		2	1	1
福田 翔	17	2		1		2	栗正 真宙	17	0				1
田村 潤	18	2		1		1	田内 新大	18	4		2		1
合計		111	11	36	6	25	合計		58	3	15	19	9

戦評

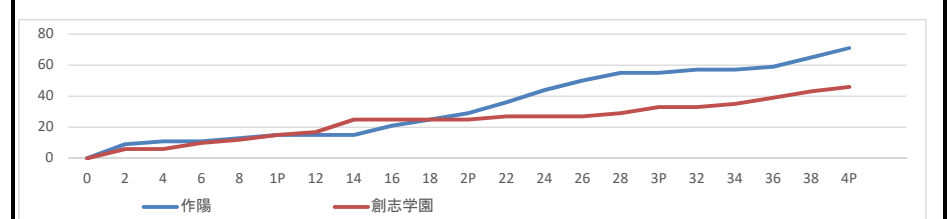
1P 商大は⑥が3ポイントを含む連続得点。一方の操山はリズムが掴めない。開始4分、操山のタイムアウト直後に商大は④の3ポイントで13-3と10点差にすると、リバウンドからの速攻を繰り返して勢いに乗る。残り4分、操山は早くも2回目のタイムアウトを取りゾーンディフェンスを敷くが、商大⑦の連続3ポイントなどで商大はさらに点差を広げ、31-12で1Pを終える。
 2P ゾーンディフェンスを続ける操山に対し、商大は⑦、⑩、④の3ポイントで勢いを増す。操山はバスマスも目立ち始め、商大はターンオーバーからの得点を重ねる。操山⑦が終了間際に3ポイントを決めるものの、58-30と商大が大きくリードして前半を終える。
 3P 点差を縮めたい操山だが、シュートをなかなか得点に繋げることができない。商大は早い展開の攻めで、開始2分半で13得点を重ね、71-30とする。操山はタイムアウトを取るが商大の激しいディフェンスを前に流れを変えることができず、89-43で3Pを終える。
 4P 点差が開き、両チームとも控えの選手を起用する。商大は立ち上がりリにファウルが嵩む。操山は⑩がスティールなど勢いのあるプレーを見せるが、商大も⑧のバスケットカウントや⑬の3ポイントなどで応戦する。最終的に試合を通じて主導権を握った商大が111-58で勝利を収めた。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会													
日時	2018年1月27日 12:30			女子		決勝リーグ							
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校							Hコート			第3試合		
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">○ 作陽 71</div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="text-align: center;">46 創志学園 ●</div> </div>													
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
折居 来愛 (C) *	4	12		6		2	中場 遥香	4	-				
加藤 夏希 *	5	8		4		2	重永 朱里	5	-				
池口 歩花 *	6	4		2		2	杉岡 蘭南 *	6	5	1	1		
							岩上 朋加 (C) *	7	12		3	6	1
堀尾 歩乃花 *	8	23	6	1	3	4	下向 厘杏 *	8	16		7	2	
豊田 果穂	9	6		3		2	定久 未奈 *	9	0				3
安藤 智里	10	4		1	2	3	渡邊 莉里那 *	10	0				
安藤 智美 *	14	14		7		5	宮本 蘭石 *	14	13		5	3	3
合計		71	6	24	5	20	合計		46	1	16	11	7

戦評

1P 両チームともマンツーマンでスタート。作陽⑧が立て続けにスリーポイントを決め流れをつかみかけるが、創志も⑩⑦のドライブからの得点や作陽の⑩などが立て続けにファウルを犯し、創志がフリースローを確実に決め、作陽15-15創志で1Pを終了。
 2P お互いに点が入らないまま2分が過ぎるも、創志の⑩のリバウンドシュートを皮切りに⑧⑥がジャンプシュートなど連続得点を重ね創志ペースになる。しかし、粘り強い作陽のディフェンスで⑤のスティールや④⑨の得点で流れを引き戻し、逆転に成功し作陽29-25創志で2P終了。
 3P 前半ファウルトラブルでなかなかコートに立てなかった作陽⑩が得点を重ね、⑥のアシストからのシュートも決まり点差を広げる。終盤創志も⑦と⑧が意地をみせ得点するも、粘り強いディフェンスが緩まることはなく、一方的な展開になり、作陽55-33創志で3P終了。
 4P 作陽⑩がフリースローを2本決めスタート。創志は気持ち切れることなくディフェンスのバスケットから⑦の得点や⑧のインサイドで得点を重ねるも、作陽の⑧の連続3ポイントでダメ押しとなり、作陽71-46創志で試合終了。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会															
日時	2018年1月27日 14:00			男子			決勝リーグ								
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校						Gコート 第4試合								
● 岡山学芸館 44 $\left\{ \begin{array}{l} 14 - 10 \\ 10 - 6 \\ 9 - 14 \\ 11 - 24 \end{array} \right\}$ 54 玉野光南 ○															
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル		
能瀬 竜一郎(C)*	4	10		5		1	吉田 圭吾	4	-						
岩佐 拓弥	5	2		1		2	竹崎 天晴	5	1				1	1	
水畑 凱登	6	0				1	和泉 健大 *	6	19	4	3	1	1		
伊藤 亜蓮	7	-					新見 京介 *	7	4		2		3		
石田 達也	8	10		3	4	1	前田 憲一郎(C)*	8	11	3	1		1		
佐々木 光樹 *	9	6		2	2	3	丸川 琉	9	0						1
田中 勇輝 *	10	2		1		1	泉 雄太 *	10	13	1	4	2	3		
片山 裕貴	11	-					森山 翼	11	-						
小椋 紀稀	12	-					中瀬 隼介 *	12	6		2	2	1		
門田 欣也 *	13	4		2		5	一色 悠希	13	-						
村田 司	14	-					若林 徹	14	-						
小山 雄大	15	-					山本 楽久	15	-						
中村 亮太	16	-					赤松 俊亮	16	-						
片山 太陽	17	-					寒川 善生	17	-						
田中 耐臣 *	18	10		5		1	磯野 凌也	18	-						
合計		44	0	19	6	15	合計		54	8	12	6	11		

戦評

1P 両者ともマンツーマンでスタート。光南は⑩のドライブや⑥の3ポイント⑫のパスカンをなどで主導権を握ろうとするが学芸も⑩や④のジャンプシュート、ドライブなどで応戦し一進一退の攻防が続く。1Pの後半学芸の⑩や⑬などのミドルが決まり学芸館が14-10で終了。

2P 学芸は⑩がゴール下やミドルを決め、⑨のゴール下、④もバスケットから速攻を決めるなど引き離そうとするが光南は途中から1-1-3ゾーンをひきディフェンスでリズムを立て直そうとするが差は縮まらず24-16で学芸館リード。

3P 光南は後半もゾーンをひき⑧や⑥の3ポイントで得点するも学芸は⑧や④が速攻、ドライブなどで応戦。光南は何度かアウトナンバーを作るが生かせず一進一退の攻防が続く。光南は⑧や⑥が3ポイントを決めるなどじりじりと追いついていき33-30学芸館リードで終了。

4P に入り光南のゾーンが機能しはじめ⑥の3ポイントでついに逆転し、続いてゴール下も決め光南37-34とし、学芸すかさずタイムアウトを取る。その後学芸も⑨や⑧のドライブやジャンプシュートで対抗するなど一進一退の攻防が続くが光南⑧のハンドオフからの3ポイントで48-42としたところでボールコントロールし始め⑩がゴール下を決めその後もファウルで得たフリースローを沈めるなどし54-44で光南が逆転勝利した。

第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会															
日時	2018年1月27日 14:00			女子			決勝リーグ								
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校						Hコート 第4試合								
○ 倉敷翠松 72 $\left\{ \begin{array}{l} 19 - 10 \\ 12 - 12 \\ 25 - 11 \\ 16 - 8 \end{array} \right\}$ 41 明誠学院 ●															
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル		
角場 沙綾(C) *	4	12		6	0	3	垣内 琳香(C) *	4	4		2		4		
福山 怜実 *	5	23		8	7		田中 陽菜	5	-						
元林 沙月 *	6	9		3	3	4	赤澤 萌々子 *	6	12		6		4		
梅澤 実佑 *	7	1			1		高原 巳和 *	7	3	1			4		
高橋 実優 *	8	0				2	村田 はな *	8	7		2	3	3		
信岡 実咲	9	0				2	岩佐 真希	9	8		3	2			
江川 晏那	10	0					吉田 梨子 *	10	7	1	2		4		
平尾 美月	11	-					梅崎 愛恵	11	0						
三島 瀬理海	12	4		2		1	河本 徳容	12	-						
水嶋 嶺花	13	10		3	4	1	貝原 萌望	13	-						
原田 亜未	14	6		2	2	1									
大谷 玲未	15	7		2	3	1									
合計		72	0	26	20	15	合計		41	2	15	5	19		

戦評

1P 両チームともマンツーマン。翠松は高さを生かした攻撃を試み、⑤、④らが得点する順調な出だしで、その後も着実に得点を積み重ねる。明誠も⑧、⑥らが得点し応戦する。明誠はドライブを仕掛け、翠松のファウルを誘うが、フリースローが決まらず得点は伸びない。残り3分で明誠は⑥、⑧の得点で食い下がり、翠松19-10明誠で1P終了。

2P 立ち上がり、明誠は⑦、⑩の3ポイントで追いついていく。お互いディフェンスが機能し、得点が伸びない展開となるが、翠松は⑤、④のインサイドでの得点、明誠も⑥の得点で互角の攻防となり、点差は変わらず翠松31-22明誠で前半終了。

3P 翠松⑤のバスケットカウント、ゴール下が決まり、翠松がリードを広げにかかる。翠松は素早いチェックでボールを奪い、⑩、⑬らが立て続けにゴールを奪い主導権を握る。明誠はファウルがかさみ、苦しい展開となるが、終盤⑨が残り2分から4得点するなど粘りを見せたが、翠松56-33明誠で3P終了。

4P お互いに速いバス回しでオフェンスを展開する。明誠はゴール下まで攻め入るが決めきることができず、一方翠松は速攻、オフェンスリバウンドをものにし、⑮、⑥らが着実に得点を重ね、追いつがる明誠を振り切り、翠松72-41明誠で翠松が勝利した。

第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会					
日時	2018年1月27日	15:30	男子	決勝リーグ	
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校			Gコート	第5試合
○ 岡山工業 91 $\left\{ \begin{array}{l} 23 - 16 \\ 18 - 12 \\ 20 - 19 \\ 30 - 10 \end{array} \right\}$ 57 商大附属 ●					

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
池上 武志 (C)	4	0					守友 良 (C) *	4	9		3	3	4
難波 唯人 *	5	24	3	7	1	1	藤原 進伍 *	5	4		1	2	4
大森 吉貴 *	6	17	5	1		3	井上 成也 *	6	14	1	5	1	4
角谷 大成 *	7	10	1	3	1	3	小林 亮太 *	7	2		1		1
岡村 童生 *	8	6		3		4	河野 彪雅	8	0				1
有松 隼弥	9	4		2			吉田 圭汰	9	4		2		1
滝谷 陵雅	10	-					脇 真大 *	10	24	2	8	2	5
青木 大聖	11	0					杉本 陽向	11	-				
山北 陽太	12	4		2			山田 陵太	12	-				
西本 早稀	13	3			3	1	鳥羽 昂輝	13	-				
梶原 壮真	14	2		1		1	吉田 亘汰	14	-				
大西 将洋	15	-					楨尾 青葉	15	-				
前花 拓海	16	0					櫻木 翔	16	-				
中井 敦斗	17	-					福田 翔	17	-				
木岡 裕太 *	18	21	2	6	3	1	田村 潤	18	-				
合計		91	11	25	8	14	合計		57	3	20	8	20

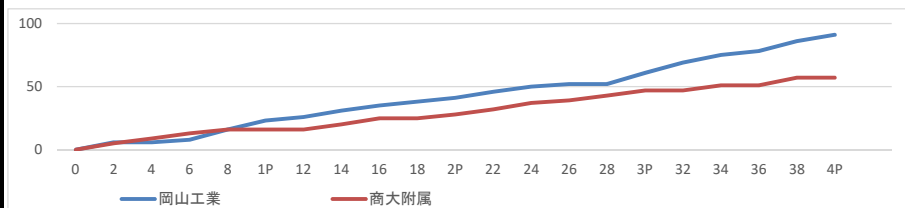
戦評

1P 序盤は一進一退の攻防。開始3分、商大⑩がスティールから速攻を決め、6-9としたところで岡工タイムアウト。その後も商大はディフェンスで岡工のミス誘い④の速攻へと繋げるが、岡工も⑦の3ポイントで食らいつく。残り2分、岡工⑥の3ポイントに続き⑤のミドルが決まり、16-16の同点とすると、⑤の連続速攻などで一気に岡工の流れとなり、23-16で1Pを終える。

2P 岡工の流れは変わらず、⑤の3ポイントなどで開始2分で28-16とする。2-3ゾーンで守る岡工に対し、商大は得点が伸びない。残り4分、商大は⑩の3ポイントと速攻からの⑨の得点で33-25と1桁点差に詰めるが、岡工もすかさず⑤のミドル、⑥の3ポイントで応戦。終盤にも商大⑥の3ポイントに対抗するかのよう岡工⑥も3ポイントを決め、41-28で岡工がリードを保ったまま前半終了。

3P 商大は⑥のバスケットカウントや⑩のオフenseリバウンドからの得点で巻き返しを図るが、岡工も⑥の3ポイントなどで突き放しにかかる。残り4分、依然として点差を縮めることができない商大は1-2-2ゾーンプレスを仕掛ける。岡工の得点の勢いは落とされたものの、点差を大幅に縮めるまでには至らず、61-45と岡工の大幅リードで3Pを終える。

4P 岡工は⑩の連続3ポイントで更に勢いを増す。商大はスタメン④⑤⑥が次々と4つ目のファウルを吹かれてしまい、我慢を強いられる。商大は1-2-2ゾーンプレスを再び仕掛けるが、岡工の勢いは止まらず、91-57で岡工が勝利を取めた。



第70回 岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会 兼 平成29年度 中国高等学校バスケットボール新人大会 岡山県予選会					
日時	2018年1月27日	15:30	女子	決勝リーグ	
会場名	岡山県立倉敷青陵高等学校			Hコート	第5試合
○ 就実 67 $\left\{ \begin{array}{l} 10 - 11 \\ 20 - 17 \\ 21 - 14 \\ 16 - 20 \end{array} \right\}$ 62 作陽 ●					

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
小坂 幸羽 (C) *	4	17		8	1	4	折居 来愛 (C) *	4	12		4	4	1
山中 茜音	5	-					加藤 夏希 *	5	7	1	2		1
井上 玲菜 *	6	2		1		2	池口 歩花 *	6	8	2	1		3
平井 日奈子 *	7	0				3							
岩谷 樹	8	-					堀尾 歩乃花 *	8	9	1	2	2	2
中矢 愛乃 *	9	12	1	4	1		豊田 果穂	9	9		2	5	3
岡村 季保	10	16		8			安藤 智里	10	6	2			1
松尾 梨央 *	11	20	1	7	3	2							
北村 歩	12	-											
山中 あみ	13	-					安藤 智美 *	14	11		5	1	3
合計		67	2	28	5	11	合計		62	6	16	12	14

戦評

1P 両チームともマンツーマンでスタート。作陽の⑭⑮の連続得点で始まるも、就実の④⑨のドライブが立て続けに決まる。しかし、就実のファウルから⑧④がフリースローを確実に決め作陽もくらいつく。お互い思うように得点が取れず互角の立ち上がり、就実10-11作陽で1P終了。

2P 就実がオールコートプレスで仕掛け、⑨④⑭の3連続得点で流れがいきかけるが、作陽も⑥の3ポイントや⑭のインサイドから得点を取り歩も引かない展開となる。就実⑭のジャンプシュートやドライブから連続得点をあげるなど、一進一退の攻防が続くも点差は広がらず、就実30-28作陽で2Pを終了する。

3P 3Pも就実の④⑨のドライブなどからの連続得点で始まる。作陽は早い段階でタイムアウトを取り、ディフェンスをオールコートで仕掛けるも、就実の⑩のドライブや⑭の3ポイントなどが決まり、点差が広がっていく。作陽も⑥の得点などで踏ん張るも就実51-42作陽で3P終了。

4P 就実⑩のドライブや⑭のジャンプシュートが決まり一気に点差を広げたい就実だが、作陽の⑩の3ポイントや④のドライブからの得点などからじわじわと攻め立てる。残り4分で作陽がタイムアウトをとり、その後両チームゾーンディフェンスに切り替える。作陽⑩⑧の3ポイントが決まり、同点となりベンチがわいた。就実はずまずマンツーマンに切り替える。白熱した戦いが続くも、作陽のシュートはその後決まらず、就実⑭のジャンプシュートと⑨の3ポイントが決まり、就実67-62作陽で試合終了。

